



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 浜井産業株式会社

コード番号 6131 URL <http://www.hamai.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 武藤 公明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当

(氏名) 山畑 喜義

TEL 03-3491-0131

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,762	—	△176	—	△196	—	△225	—
25年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △196百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△6.96	—
25年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成26年3月期第1四半期より、四半期連結財務諸表を作成しているため、25年3月期第2四半期の数値および対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	—	%
26年3月期第2四半期	7,353	—	1,931	—	—	26.2
25年3月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,926百万円 25年3月期 —百万円

(注) 平成26年3月期第1四半期より、四半期連結財務諸表を作成しているため、25年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年3月期の期末配当予想は、未定とさせていただきます。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,030	—	85	—	55	—	30	—	0.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年3月期第1四半期より、四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 —社 (社名) — 、 除外 —社 (社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	32,624,000 株	25年3月期	32,624,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	190,663 株	25年3月期	187,018 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	32,434,623 株	25年3月期2Q	32,443,515 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、平成26年3月期第1四半期より、連結決算へ移行いたしました。
2. 本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
 また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
 業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
3. 平成26年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。  
 今後の業績動向などを勘案し、配当予想額の開示が可能となり次第、速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 追加情報	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
【第2四半期連結累計期間】	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	1 1
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	1 2
(継続企業の前提に関する注記)	1 2
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	1 2
(セグメント情報等)	1 2

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期等との比較分析は行っておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策関連事業の執行に伴う公共事業の伸びや円安を背景にした輸出の拡大等が、中国の景気減速ならびに欧州の経済の低迷等をカバーして、緩やかな回復基調が続いております。

今後も平成26年4月の消費税のアップに向けた経済対策の一環として、補正予算の編成や各種新規設備投資向減税措置の実施等が見込まれることから、回復基調は、継続するものと思われま

す。ただ、新規の設備投資につきましては、大型の設備にかかる消費税のアップから駆け込み需要も含め、顧客の発注が本格化するの、下半期からと思われ、工作機械の国内需要は、今一歩伸び悩みの状況でありました。

このように当社グループのような受注生産型の企業にとっては、厳しい経営環境の下、主要顧客であります電子・電機関連業界、特にスマートフォン関連の業界・企業に対して積極的な販売活動を行ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は1,762百万円、営業損失は176百万円、経常損失は196百万円、四半期純損失は225百万円となりました。

なお、セグメント別では、当社グループは、1工場、工作機械の製造を行い、販売するという単一事業を展開しております。

そこで、セグメント別の「工作機械事業」としては、上記のとおりですが、以下「機種別」に市場動向、販売状況等を補足させていただきます。

#### ①ラップ盤

デジタル家電向各種ガラス基板加工用の設備投資は、一部の光学ガラス加工用設備に需要はあったものの全般的には弱く、シリコンウエーハ・LED用サファイア・水晶・パワー半導体用SiC基板等の加工用設備についても設備投資の本格化の時期が、ずれ込んでおります。

さらに、受注済大型案件について、顧客の要請により出荷が下半期に延びたこともあり、売上高は576百万円となりました。

#### ②ホブ盤、フライス盤

ホブ盤については、中国向の販売が減少するも、釣具・電動工具・モーター等のギア加工用の販売が増加し、フライス盤では、海外の材料加工用設備向の販売が伸びたことから、売上高は619百万円となりました。

#### ③部品、歯車

ガラスHDD加工用設備向についての消耗部品販売は、マーケットの需要動向から、低調であったものの、光学ガラス加工用設備向に消耗部品販売が増加し、売上高は566百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は3,414百万円となりました。その主な内訳は、仕掛品1,198百万円、現金及び預金1,028百万円、受取手形及び売掛金の売上債権968百万円であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は3,938百万円となりました。その主な内訳は、有形固定資産3,573百万円であります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は4,627百万円となりました。その主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金2,579百万円、支払手形及び買掛金の仕入債務870百万円であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は794百万円となりました。その主な内訳は、長期借入金386百万円、退職給付引当金353百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,931百万円となりました。その主な内訳は、資本金2,050百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、当第2四半期連結会計期間末には、1,028百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は105百万円となりました。

収入の主な内訳は、たな卸資産の減少額207百万円、売上債権の減少額112百万円であり、支出の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失196百万円であります。

2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は49百万円となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出31百万円によるものであります。

3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果得られた資金は77百万円となりました。

これは、主に借入金の調達によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年11月1日発表の連結業績予想に変更はありません。

当連結会計年度(平成26年3月期)の業績見通しにつきましては、連結売上高5,030百万円、連結営業利益85百万円、連結経常利益55百万円、連結当期純利益30百万円を見込んでおります。

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(注) 第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であったハマイエエンジニアリング株式会社および  
哈邁机械商貿（上海）有限公司の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 追加情報

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<p>・財務制限条項について                      当社の借入金の内、2,197,000千円には損益計算書における経常損益に係る財務制限条項が付されて                      おります。</p> <p>なお、前事業年度において上記財務制限条項に抵触いたしました。取引金融機関からは、一行の                      み条件付ですが、最終的に全行から期限の利益喪失適用免除について了承を得ております。</p> <p>また、条件付了承行の支援分を除いても、別途調達枠等により、資金面の懸念はありません。</p>

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

#### ・財務制限条項について

当社は、平成23年9月に期間3年でシンジケート・ローン契約を複数の取引金融機関と締結しております。

同ローン契約の財務制限条項のうち、「各年度の決算期において経常損益が、2期連続して損失とにならないようにすること」という条項に平成25年3月期時点で、抵触いたしました。取引金融機関からは、一行のみ条件付ですが、最終的に全行から期限の利益喪失適用免除について了承を得ており、当第2四半期連結会計期間末における状況の変化はありません。

また、条件付了承行の支援分を除いても、別途調達枠等により、資金面の懸念はありません。

したがって、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しておりますが、現時点では、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

このような状況を早期に解消すべく、以下の対応策を継続して実施しております。

#### (1) 受注および売上高の確保

##### ①海外市場への営業部員の集中投入、現地機械商社・代理店の活用強化

受注が伸びている韓国、台湾、マレーシア、インドネシア等へ営業部員を集中投入すると同時に各地域の現地機械商社・代理店の開拓と活用の強化により、受注増・売上高アップをはかっております。

##### ②新製品の積極投入によるラインアップの強化

既に平成25年8月に発表済の金属加工用のファイングラインディンクマシンの販売の強化をはかると同時に、新型ホブ盤についても、今後、中国内陸部やアジア圏で自動二輪や自動車の部品加工業者への販売を強化し、既存製品の売上に上乘せして受注増につなげてまいります。

##### ③テクニカルサービス体制の一層の充実

既にご愛顧いただいております当社製品のメンテナンス、修理や消耗部品のご提供等のサービスにおいて、お客様のご要望に対して、きめ細かいサービスを実施することによって、部品販売等の実績をさらにアップさせてまいります。

中国国内のサービス体制につきましては、上海の現地法人が、平成24年2月より、本格的に稼働しております。

#### (2) 財務体質の改善策の着実な実行

##### ①総経費の削減

現在、一般従業員から役員まで給与カットを実施中であり、これらの人件費の削減に加え、営業経費、工場の経常経費の不断の見直しを実施し、販売費及び一般管理費を中心に、さらにコスト削減に注力し、収益力の向上をはかってまいります。

##### ②モニタリング体制の確立

以上のような諸施策の実行状況を確認し、一つ一つ着実に実行されているかをフォローしてまいります。

具体的には、現在も毎月実施している営業・生産・管理の各部門別PDCAを活用して、フォローしてまいります。



4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,028,867
受取手形及び売掛金	968,987
商品及び製品	59,146
仕掛品	1,198,973
原材料及び貯蔵品	83,961
その他	74,749
流動資産合計	3,414,685
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	800,073
土地	2,276,497
その他(純額)	497,354
有形固定資産合計	3,573,925
無形固定資産	25,150
投資その他の資産	
投資有価証券	190,892
その他	165,391
貸倒引当金	△16,932
投資その他の資産合計	339,352
固定資産合計	3,938,427
資産合計	7,353,113
<b>負債の部</b>	
流動負債	
支払手形及び買掛金	870,466
短期借入金	263,000
1年内償還予定の社債	700,000
1年内返済予定の長期借入金	2,579,772
未払法人税等	5,627
製品保証引当金	15,252
その他	193,297
流動負債合計	4,627,416
固定負債	
長期借入金	386,250
退職給付引当金	353,043
資産除去債務	28,836
その他	26,236
固定負債合計	794,366
負債合計	5,421,782

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
(平成25年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	2,050,186
利益剰余金	△159,259
自己株式	△28,725
株主資本合計	1,862,200
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	60,479
繰延ヘッジ損益	△3,629
為替換算調整勘定	7,116
その他の包括利益累計額合計	63,967
少数株主持分	5,163
純資産合計	1,931,331
負債純資産合計	7,353,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,762,149
売上原価	1,590,509
売上総利益	171,639
販売費及び一般管理費	
販売手数料	28,329
荷造運搬費	29,926
役員報酬	31,295
従業員給料	80,205
従業員賞与	6,308
退職給付費用	7,524
その他	164,824
販売費及び一般管理費合計	348,413
営業損失(△)	△176,774
営業外収益	
受取利息	99
受取配当金	958
為替差益	550
不動産賃貸料	2,721
その他	7,122
営業外収益合計	11,451
営業外費用	
支払利息	25,610
その他	5,343
営業外費用合計	30,954
経常損失(△)	△196,277
特別損失	
固定資産除却損	66
特別損失合計	66
税金等調整前四半期純損失(△)	△196,343
法人税、住民税及び事業税	3,088
法人税等調整額	27,267
法人税等合計	30,355
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△226,699
少数株主損失(△)	△1,072
四半期純損失(△)	△225,626

四半期連結包括利益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

		当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)		△226,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		24,375
繰延ヘッジ損益		1,863
為替換算調整勘定		4,078
その他の包括利益合計		30,317
四半期包括利益		△196,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		△196,124
少数株主に係る四半期包括利益		△257

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成25年4月1日  
至平成25年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△196,343
減価償却費	100,913
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△13,196
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△766
受取利息及び受取配当金	△1,057
支払利息	25,610
為替差損益(△は益)	△2,999
支払手数料	3,223
固定資産除却損	66
売上債権の増減額(△は増加)	112,987
たな卸資産の増減額(△は増加)	207,976
仕入債務の増減額(△は減少)	△79,357
その他	△16,707
小計	140,338
利息及び配当金の受取額	1,057
利息の支払額	△25,902
法人税等の支払額	△6,597
その他の支出	△3,223
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,672
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△31,068
投資有価証券の取得による支出	△482
短期貸付金の回収による収入	130
その他	△18,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,899
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	63,000
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△184,946
配当金の支払額	△20
その他	△325
財務活動によるキャッシュ・フロー	77,708
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,955
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	140,437
現金及び現金同等物の期首残高	843,347
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	45,083
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,028,867

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループは、単一セグメントのため、記載を省略しております。

②報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

③報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当社グループは、単一セグメントのため、記載を省略しております。

④報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

⑤報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。